



2024.10.17 (木)  
第 15 回例会  
(通算3777回)

## 2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人  
副会長 吉田 英一  
幹事 東堂 光春  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
 0154-24-0860  0154-24-0411

2024-2025 年度  
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度  
R1会長 ステファニー A. アーチック  
第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之 (帯広西 RC)

**本日のプログラム** 地区大会に参加して (理事会)

**次週例会** 講師例会「ポリオ撲滅に向けて」 (理事会)

- ロータリーソング：我らの生業    ■ ソングリーダー：松井 聖治君
- 会員数    105 名
- ビジター
- ゲスト

### 会長の時間 高橋 直人会長



会員の皆さま、  
こんにちは。先日  
の地区大会には、  
30名の皆さまに参  
加をいただきまし  
て大変ありがとうございました。そ  
の日は帯広でいろ

いろな大会がありまして、レバングの試合、子ども野  
球、サッカー等があって、ホテルが非常に混んでおり  
ました。東堂幹事が3カ月前に押さえていたものでは  
すから、ホテルは取れたのですが、すごく手狭な小  
さな部屋だったので本当に申し訳ございません。そう  
いう都合だったのでこちらの責任で謝りますのでよ  
ろしくお願いいたします。

それでは、ごあいさつさせていただきます。10月  
12、13日に開催されましたR I 2500 地区帯広地区  
大会の話をさせていただきます。この後、会員の方  
から釧路ナイト、本会議のことを話していただけたら  
と思いますので、私はこの時間をお借りして、12日に行  
われたリーダー・ラーニングセミナーの話をさせてい  
ただきます。

講師は、国際ロータリー第1地域行動計画推進リー  
ダー・2520地区パストガバナー菅原裕典様でした。  
テーマは『3年の目標と計画の概要と目的について』  
でした。分かりやすく5つのステップに分けて説明し  
ていただきました。

ステップ1では、クラブの健康チェックをしてみま  
しょう、自クラブの評価をしてみましょう。クラブの  
現状を客観的に分析することが必要なので、フォー  
マットがありますので、そのフォーマットで検索して  
会員の満足度をチェックしてみましょうということだ  
す。

ステップ2では、5つに分けてご説明していただきま  
した。インパクトをもたらす奉仕プロジェクトの第1  
は、ポリオ根絶です。ポリオ根絶して培われた資産を  
次のインパクトある奉仕活動につなげましょう。2つ  
め、地域のニーズ調査を実施すること。効果的な奉仕  
プロジェクトを実施するには、地域の調査を実施する  
ことが重要です。3つめに、奉仕活動の焦点を定める。  
クラブの奉仕活動を見直し、どの部分を簡素化、廃止  
できるかを決定しましょう。そうすることで、クラブ  
ではインパクトをもたらす意義ある活動により多くの  
時間を当てることができる。4つめ、グローバル補助  
金、または地区補助金を活用する。持続的可能で測定  
可能な効果をもたらすプロジェクトに資金を提供でき  
るようグローバル補助金、または地区補助金を請求し  
ましょう。5つめ、プロジェクトの実践前と実践後に  
評価を行う。この目的は、活動する地域社会で測定可  
能、かつ永く続く変化をもたらすために何ができ  
るかを知ることです。

ステップ3では、アクションプランに基づくクラブ戦  
略計画の立案。アクションプランを理解したクラブの  
戦略計画を立案しましょう。国際ロータリーホーム  
ページに戦略計画立案フォーマットがありますので、

これをダウンロードして活用するように、ということでした。

ステップ4では、奉仕プロジェクトの立案と広報、戦略計画に基づいた実際の奉仕プロジェクトを立ち上げましょう。すでにある奉仕プロジェクトも実施方法を変える必要があるかもしれません。奉仕プロジェクトの立案をしましょう。

ステップ5では、国際ロータリーの共有。奉仕プロジェクトを実施したら、その情報を国際ロータリーと共有してください。

大変努力と手間のかかる話ですが、この5つのステップを参考にして、これからの活動に活かしていきたいと思います。

皆さまのテーブルの上にあるのは、12日にタイのカンチャナブリのグローバル補助金をともしするパストガバナーと会いました。その方から「会員の皆さまにお配りください」といただいたお土産ですので、それを皆さまのテーブルに上げておきましたので、どうぞお持ち帰りください。

以上をもちまして本日の会長のあいさつを終わらせていただきます。今日も楽しい例会にしましょう。

## 幹事報告 東堂 光春幹事

皆さま、こんにちは。地区大会にご参加された皆さま、大変にお疲れさまでした。

1点目、2500地区より10月24日の世界ポリオデーに向けての取り組みのお願いが来ております。ホワイトボードに張っておきますので、後ほどご確認ください。

2点目、釧路市共同募金委員会様より歳末助け合い募金運動のお願いが来ております。すでに募金された方もいると思うのですが、毎例会で、受付に置いてありますので募金のご協力をよろしくお祈りしたいと思います。

### ■本日のプログラム■ 地区大会に参加して

## 小船井修一パストガバナー

皆さん、こんにちは。「3～4分で話していただきたい」とお話をいただきました。2点だけ、お話を申し上げます。

大会一日目は、クラブの懇親会だけではなく、その前にいろいろな会議があります。私は今回、吉田パストガバナーと二人で参加した委員会、地区大会での本会議を含めて7回のメイクアップのカードをいただきました。

その中身は、10月12日の地区諮問委員会、地区の財団委員会、地区の指名委員会、これはガバナーを選ぶ委員会です。地区ラーニングセミナー、高橋会長が参加したセミナーです。そして地区会長・幹事懇談会。

地区大会特別委員会は決議案を採択するための委員会です。翌日の13日の地区大会の本会議です。そういう意味で、7回のメイクアップができて良かったと思います。

もうひとつの情報は、3年に一度、シカゴで規定審議会が開催されます。約540名の地区代表のパストガバナーが代表委員として参加して、ロータリーの細則、定款、そして標準ロータリークラブ定款の変更に関わる部分の審議をします。

その中で、国際ロータリーの理事会は2025年4月に開催される制定案として、25の72番で「年次地区大会の開催要件を削除する件」が出されます。これは、ベラルーシとウクライナは今、戦争状態で敵同士となりますが、地区は同じなのです。この3年間、地区大会は開催されておりません。R Iの細則上は、地区大会を開催することが義務になっております。こういうのに柔軟性を持たせるために地区大会を任意にさせるという制定案が出ます。

それでは、日本では、2500地区では、「ガバナー一年度によって地区大会がなくなることがあるのではないか」という話になってしまっていますが、多分、例年どおり開催されると思います。

例えば、地震・風水害などの大災害が起きた場合に地区大会を開催することを中止することもできるという意味では、私どもとしては「いいことなのか」と思いながら、考えている次第であります。

私からは2点、お話申し上げました。以上です。

## 荒井 剛会長エレクト

こんにちは、荒井です。私は、地区大会に参加した時の話、主に基調講演のことに触れたいと思います。手元に今、『アンビ



シャス』という本があります。地区講演の講師として来ていただいたのは、日本火腿ファイターズ球団の事業本部長を勤めている前沢賢さんです。彼は「エスコフィールドを作った男」と呼ばれている方で、どのようにして北広島にエスコンを作ったのかが題材になっている本なのです。

これは小谷ガバナーがこちらの公式訪問に来られた際に「この本をぜひ読んでください」ということで1冊クラブに寄贈していただいたと思います。その本は、幹事と会長のほうに渡ったと思っております。幹事はその本を読んだ後に、読もうと思っていたのですが、いつまでたっても幹事から本が来ないだろうと思っていたので、私自身が自費で買って読んだうえで地区大会に臨みました。結果的にこれ読んで、前沢さんの話

を聞いて良かったと思っております。

この本でもいろいろ紹介されていたのですが、前沢さんは眼光が鋭くて、自分の信念をぶつける方というのが、この本からも伝わってくるのです。基調講演の様子、雰囲気もまさにそのような感じでした。

彼が言っていたのは、エスコンフィールドを北広島に持ってくる前に「札幌ドームがあるのに何で別にスタジアムを作る必要があるのだ」という反対意見があって、元々、札幌ドームは球団の物ではなかったの、なかなか思いどおりにならないことがあって「やっぱり、スタジアムを自分で作ろう」と。球団の中には、それに対して反対する人が何人かいたと。

「その人に対して、どのように接したのですか」という質問が出たときに、基本的には反対派というか保守系の意見には、「一言で言うと無視をする」という言い方をしたのです。無視をしても抹殺するわけではなくて、何度も何度も繰り返し自分の信念を伝えて最終的に理解してもらって、場所が北広島か真駒内かとなったのですが、最後は北広島と。

今、エスコンフィールドができました、駐車場ができました、「この先どこまで広がるのですか」という話もあったのですが、「この先2年後に、エスコンフィールドにつながる駅ができて、さらに病院ができる。それで人が集まることで、エスコンフィールドを中心とした街づくり構想を具体的に描いたうえで進めている」と言っていたのです。

さらに「その先はどうするのですか」に関しては、「それは、将来の世代の人が考えるべきだ」というのです。先の具体的なプランは、前沢さんは特に話をしていなかったのです。

彼の強い思いがあって、エスコンフィールドが実現されたということが伝わってきました。

1時間の講演だったのですが、講演の後に質疑応答の時間がありました。このような講演会の質疑応答というのは、質問がなかった場合に備えて、サクラと言ってはあれですが、基本的に質問を用意しておくのだらうと思って、私はいろいろ聞きたかったのですが、少し黙っていたところ、パッと手を挙げた方の質問が、私が本当に聞きたかった質問と同じだったのです。

どんな質問だったのか。私は、中1の娘が野球をやっているのです。釧路に女子チームがないから、札幌の女子野球チームに所属して、毎週末、娘を札幌に送ったりしているのです。その関係で、何を言いたいかというと、日本のプロ野球では、巨人とか他のチームは女子野球チームをもっているのです。日ハムは女子野球チームをもたないのかと常々思っていました。一緒に女子野球をやっている保護者の間でも話が出ていて、それをドンピシャで聞いてくれた人がいたのですよ。

おっと思っていいたら、前沢さんの答えを聞いてがっか

りしたのです。「私が本部長であり続ける限り、それはありません」と答えたのです。女子野球を応援していないわけではないけども、そこでは言わなかったですけれども、彼の考えとしてはおそらく女子野球のチームを作ったとしても、お金にならないという発想があると思うのです。女子野球を全く応援しないということではないし、逆に言うと、前沢さんの気持ちが変われば女子野球チームは作れるのだなど。元々、札幌ドームがあるのに別のスタジアムを作ろうと思っていた人ですので、どうにか前沢さんに「女子野球チームを作ったほうがいいよ」とアプローチして行けば、いつかできるのではないかなと思っていました。

本当は、質問ではなく思いをぶつけたかったのです。釧路にも、女子野球チームがあったら行きたいと思っている人がいることを分かってもらって、言ってもらいたかったという思いがあったのです。

講演は13時から始まって14時近くに終わるのですが、なんと14時から例のクライマックスシリーズが始まるので、みんなソワソワし始めたので、これ以上はできないと泣く泣く質問を諦めました。どこかの機会に前沢さんに直接アタックできればと思っています。

私の個人的な話になりましたが、以上です。

## 岩田 信一君



前の二人が素晴らしい話をしたので、ここから崩して行こうと思いません。

釧路ナイトの話です。会長が遅れ

て来ましたが、会長から高級な日本酒の一升瓶をいただきました。その前には、ビールやハイボールなどを飲んでいたので、そこで全員が日本酒を最初は1杯ずつ飲んでいたので、なくなるまで飲んでチャンポンになったので盛り上がり、盛り上がり、その盛り上がりで二次会に行ったのです。

二次会では、副会長の吉田さんから高級なワインをいただいて、ありがとうございます。いただいたのですが、そこで事件がありました。せっかく吉田副会長がワインを提供したのですが、名前は言いませんがそこでグラスを割って、吉田さんのカバンとスリーピースの全部がワインだらけになって「散々なことになった」という話を隣でやっていました。

次の店からは記憶がないのですが、とても楽しい、そして夜間例会ともまた違って、いろいろな人たちと話ができ、すごくいい懇親会だったなと思います。ありがとうございます。

## 藤原 工副幹事

お疲れさまです。副幹事の藤原です。よろしくお願いします。この度の地区大会に参加いただいた皆さまで、今日の例会にはス



ケジュール調整が合わず来られなかった方がたくさんおりましたので、その方々の思いを含めて話させていただきます。私は今回、車で送迎をさせていただきました。私の車には、川島副幹事、高橋会長、滝越さん、関向さんを乗せて帯広に向かう行程でした。

大失態でした。テーブルにあるのはタイのpastagaバナナからのお土産ですが、こちらからも持って行く予定でした。中島さんの所で準備していたのですが、会長を乗せて「さあ、帯広に出発するぞ」とトランクを閉める時に「あっ、すみません。お菓子を取に行きます」となって、中島さんには、わざわざ途中まで持って来ていただいたお菓子を受け取って帯広に向かいました。それを忘れていたら、会長がリーダー・ラーニングセミナーに遅刻する寸前でしたので、私の反省です。会長、大変失礼いたしました。

初日は、会長と幹事がリーダー・ラーニングセミナーと懇親会に出席されて、私たちは釧路ナイトをスタートさせていただきました。乾杯は副会長に行っていたが、一次会の締めは木下さんに。二次会の開始は後藤さん、そして締めは荒井さんで終了となりました。

二次会の途中で、吉田潤司さんが奥様と一緒に登場されたので、これは一言いただきたいと思って、なんの前振りもなく「お願いします」と言ったら快く引き受けていただき、話をさせていただきました。吉田さん、ありがとうございました。この場は高い席ですがお礼を申し上げます。

先ほど、岩田さんからありましたが、二次会も盛り上がりまして三次会に行くメンバーと、どちらかに消えて行ったメンバーがおりましたので、次の日は大丈夫かと思いつながら次の日を迎えました。

100%の集合をいただきましたのでホントに助かりました。ありがとうございます。写真撮影もしていただき、お昼ご飯まで皆さんにいただきました。恒例のセレモニー的なものがありましたが、今回のお昼ご飯は、私が釧路ロータリーでも中標津ロータリー在籍でも、今までのいろいろな機会でも一番いい弁当だったと思います。中身は平和園の焼肉弁当です。私は、焼いた肉が冷めて硬かったのですが、今までで一

番良かったと思っていたのですが、この中で一人だけ「最悪の弁当だった」と思われている方が幹事です。「牛肉を食べない」ということです。どのように食べているかを見てみると、肉をよけて、ご飯と漬物で食べていました。それで終わるのかと思ったら、「まだ、余っていますよ」と言ったら、肉を食べないのにもう1個食べていました。ということで肉の分をご飯でお腹を満たしたということでした。

「Sコン」の話なども聞いて、帰りは私と会長と川島さんの3人で帰って来ました。

行くときに、すごく恐ろしいことを関向さんから聞きました。「滝越さんと関向さんが車に乗っていると、どこかで絶対にスピード違反などで捕まるぞ」と言われたのです。私の行は捕まらなかったのですが、お二人は「邵さんの車で、先に帰る」ことになったので大丈夫だったのでしょうか。今日、その話がなかったので大丈夫だったのでしょうか。そのジンクスが見事に払拭されたようです。今回の大会の報告でした。ありがとうございました。



## 川島 勝典副幹事

こんにちは。副

幹事の川島です。先週の時点では「基調講演について話してほしい」と言われたのですが、全部を荒井さんに話されてしまいました。私も、その本を持っているので今日、用意して来たのですが出しません。基調講演の内容はその本を読んでもらえば網羅されていると思います。

私が心配だったのは、二日目のご飯の後の基調講演です。皆さんは二日酔い状態。絶対に眠る人がたくさん出ると思って心配していました。意外なことに、内容的に面白かったのと、よく考えたら二日酔いの人は昼ご飯を持って帰ったのでイビキは聞こえませんでした。内容的には濃い基調講演だったと思います。

面白いことと思ったのは、講師の前田さんがファイターズの関係者であるにも関わらず、「ファイターズは毎年優勝しなくてもよい。6年に1回くらいでいい。そのかわり、毎年Aクラスに入って欲しい」と言っていました。それは経営者の視点からそういう言葉が出たと思うのです。本当の理由は分からないのですが、あまり強すぎるとお金もかかり過ぎることもあると思います。という、とても面白い話を聞くことができました。

私の報告はこれで終わります。

## 本日のニコニコ献金

■栗林 延次君 この度、釧路市民貢献賞を頂きました。

今年度累計 143,000円